

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	横山町内会
2 事業名	横山町内会区域 侵入盗・自動車関連窃盗被害撲滅事業
3 事業実施結果	<p>当町内会区域は、安城市中央部に位置し、住宅や店舗等が混在する地域である。また、東海道新幹線や複数の主要地方道が町内を縦横しており、他の地域からの人・車の流入は非常に多い。</p> <p>犯罪については、ここ数年、年間で40件前後の被害が発生しており、住宅対象を含む侵入盗が慢性的に発生しているほか、令和6年は、前年1件であった自動車関連窃盗の被害が11件と大幅に増加した。また、特殊詐欺の前兆電話が複数確認されるなど、これら被害の更なる発生が懸念される状況である。</p> <p>本年度、安城市より犯罪抑止モデル地区に指定されたことを契機に、「安全・安心なまち横山町」を実現すべく、市、警察及び地域団体等と連携し、区域一丸となって下記のとおり各種自主防犯活動に取り組んだ。</p> <p>(1) パトロール体制の強化と活動の活発化（A・B・D事業）</p> <p>当町内会は、現在、青色パトロール車による昼夜のパトロールを年間150日以上、徒歩による防犯パトロールを年1回、小学生の見守り活動を毎登下校時、あいさつ運動を毎月第2土曜日にそれぞれ実施しているが、各活動内容やモデル地区事業などについて町民に広く周知するため、今年度新たに「犯罪抑止通信」を作成・回覧し、体制の強化と活動の活発化を図った。</p> <div data-bbox="595 1809 898 1951" style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>12月13日時点で 第13号まで発行</p> </div> 

大運動会で「防犯ストラックアウト」



オータムフェスティバルで「防犯射的」



防災訓練で「防犯用具体験キャンペーン」

イ 敬老の日やハロウィンを契機とした高齢者への啓発活動の実施
敬老の日のお祝い品贈呈に併せ、町内の高齢者に対し、特殊詐欺への注意を促す啓発品を配付したほか、ハロウィンの時期に町内の小学生が祖父母に向けた特殊詐欺被害防止メッセージはがきを作成し、注意を呼びかけた。

敬老の日で啓発品配付



祖父母に向けたはがき作成



ウ 青色パトロール講習会の受講
自主防犯会の隊員を対象とした青色パトロール講習会を受講し、警察官からパトロール時の注意点等について学んだ。

警察官による講習会



(3) 犯罪防止環境の整備（C・E事業）

令和7年4月に実施した「まちの防犯診断」（防犯設備士、警察、市及び町内会による、防犯上の危険箇所の点検）の結果を踏まえ、町内全戸に配付した「防犯プレート」の掲示や、公園等に地域安全横断幕を設置した。

町内各戸に配付した防犯プレート



町内の公園への地域安全横断幕の設置

4 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

ア 成果

(ア) 防犯パトロール活動への理解

各種防犯活動や犯罪抑止通信により、多くの町民に活動内容やモデル地区事業などについて周知、理解され、町民から積極的に不審者・犯罪情報が寄せられるようになったほか、労いの言葉をいただく場面も増え、活動に対するモチベーション向上と活性化に繋がった。



市と警察と協力して実施した年末の「歩いて防犯パトロール」

(イ) 防犯環境の改善

全戸配付した防犯プレートは町内のほとんどの世帯で掲示されたほか、地域安全横断幕の要所への設置、市による緊急防犯カメラやLED防犯灯の増設等とも併せ、町内の防犯環境の改善に大きく寄与した。

(ウ) 防犯意識の高揚

防犯キャンペーン等の各活動は新聞の地方版や地元ケーブルテレビで度々報道され、諸活動の実施と相まって町内全体での防犯意識の高揚に繋がったほか、広く市内外に「横山町は防犯意識の高いまち」であることを発信できた。

イ 課題

(ア) 刑法犯認知件数の増加

住宅対象侵入盗や特殊詐欺の被害こそ防いだが、県内及び市内各地で犯罪の認知件数が増加傾向にある中、横山町においても前年同期比で12.9%（R7.11末・速報値）増加した。ただし、モデル地区事業により防犯環境が改善しつつあり、また町民の防犯意識も高揚しているため、引き続き、市や警察から支援を受けながら刑法犯認知件数の減少に繋げたいところである。

(イ) コミュニティ外の町民への働きかけ

町内には高齢者の居住も多く、また老人会に属していない（コミュニティ外にある）方が散見される。町内会未加入者（主に若年層）と同様、地域との接点が少ない町民への効果的な働きかけ方を模索しなければならない。

(ウ) 持続化に向けた担い手の確保

町内会活動全般にも言えるが、防犯活動を持続していくためには、「担い手の確保」が依然として大きな課題である。

(2) 今後の取組み

上記課題を踏まえ、町内行事等に併せた啓発や情報発信を行うなど、引き続き市・警察・地元団体と協働しつつ、町内における自主防犯活動の活発化と持続化に取り組みたい。